

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	佐賀大学	整理番号	1-5-035
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	市民参画「佐賀環境フォーラム」プロジェクト		
申請単位	大学全体		
申請担当者	宮 島 徹		
<p>(取組の概要)</p> <p>今日、健全な社会の形成のために、社会の各主体が正しい環境観を共有することが求められている。大学においては科学的判断基準を学習・討議する場を早急に構築しなくてはならないが、これに市民と学生が共通参加することにより、その教育効果は著しく高められる。佐賀市と佐賀大学は連携して「佐賀環境フォーラム」を平成13年度より毎年開催している。</p> <p>内容としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外部講師を交えたオムニバス形式の講義</li> <li>2) 体験的学習効果をねらった自然生態系観察などの現地見学会</li> <li>3) 個別の問題に関する市民と学生によるグループ研究（ワークショップ）</li> </ol> <p>である。</p> <p>市民と学生の双方向コミュニケーションおよび学生の自立性を誘導した結果、学生の総合的判断力や自己発信能力などが飛躍的に向上した。また、市民の環境に対する意識も高められ、この機会に環境 NPO が結成された。「佐賀環境フォーラム」を実施することによって、環境教育としての生涯教育と教養教育をハイブリッド化する意義が明らかとなった。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、佐賀大学の教育目的・教育方針である「教育先導大学」と「社会に開かれ、社会に貢献する大学」を実現するため、平成13年から実施されたものです。平成14年学長を機構長とする「地域貢献推進室」を設立するなど、「民学連携」に大学として組織的に取り組んでいる姿勢や大学と地方自治体との連携で実施されている「佐賀環境フォーラム」は評価されます。「教養教育及び生涯教育としての環境教育」に優れた特色があり、他の大学の参考になる事例と認められます。</p>			